

# 長良川パラトライアスロン大会 2014

併設長良川スプリントトライアスロン大会 2014

## 出場選手案内

### 日程

7:00	駐車場オープン
7:30~8:30	受付
8:00~8:30	トランジション オープン
8:10~8:20	スイムアップ
8:30~	開会式：競技説明会
9:00~	パラトライアスロン競技 スタート
10:00~10:10	一般スプリント スイムアップ
10:30	競技説明会
10:40~	競技スタート

(パラトライアスロンの進行状況により、遅れる場合があります。)

場内放送にもご注意ください。)

11:00~	表彰式
	(対象者決定後)
	パラ 各カテゴリー 1位~3位
	一般スプリント 男女 各1位~3位

## 注意事項

### 全般

1. 駐車場は、木曾三川公園の治水タワー南信号交差点より、長良川河川敷に、(第一駐車場)。駐車場から、川上に上った場所に、大会駐車場があります。パラ選手、一般の選手が区分されております。係員の指示に従い、駐車願います。車内は曇っていても高温となりますので、ご注意願います。また、駐車場内のトラブルに関しましては、各個人にてご対応願います。一般道路に路上駐車されますと、近隣住民に迷惑をかけるばかりでなく、今後の大会の存続に影響します。絶対にしないでください。
2. 大会側にての、荷物預かりはありません。各人にて手配願います。(貴重品の管理は個人にてお願いいたします。)
3. 受付、大会本部、医療スタッフは、テニスコート内に設けられます。
4. 長良川サービスセンター内に多目的トイレ、シャワー室、コインロッカー(返却式)が設置されております。必要に応じご利用ください。
5. 会場は、国営公園です。キャンプ、火気使用、御同伴者の危険と感じられる行為や、投げる、飛ぶ、滑る、走る等の遊具にて、他者への危険性のあるものは禁止されております。
6. 園内を自転車にて走行される場合は、ヘルメット、ストラップ確認後、他の利用者に注意の上走行ください。園内は、一般の方も利用されております。専用コースではありません、又、大会指定時間以外でのスイムは、禁止されております。規則やマナーを守ってご利用願います。近年、大会会場におきまして、使用制限が厳しくなり、事故やクレームが発生しますと、次回の会場の使用許可が得られない状況となります。選手、会場、運営が連携しての大会開催であり、来年も発展することを願っております。
7. 用具の事前検査は行いません。規定に沿った用具にて参加ください。また、事前の整備点検、自身の体調確認も行った後、大会にご参加願います。整備不良、体調不全、スタッフの裁量等の理由により、大会側の判断にて、参加を拒否、棄権の指示等、させていただく場合があります。その際は、同意いただきますようお願いいたします。

## 競技についてのご注意

日本トライアスロン連合の競技規則を適用します。一部本大会ルールを適用します。違反者には、ストップアンドゴー等のペナルティが、審判員より課せられます。危険な行為やそれに類する場合は、選手に注意、警告をさせていただきます。

1. 記録は、電子計測器により計測いたします。公表記録の各パートタイムは、計測地点通過での記録となり、実際のタイムとは異なります。大会途中に、速報を掲示板に公開します、総合記録は、インターネット上にて公表します。個人への送付は行いませんので、ネットから、確認をお願いします。
2. 配布時、レースNo、氏名の確認、レース開始前、途中にても確認をお願いします。マジックテープをしっかりと取り付け、その上にゴムバンドをつけてください。脱落、持ち帰りは、当事者が行方不明の措置となり、大会の中断、中止。捜索が警察本部にて行われますことをご了承願います。棄権、不参加の場合は、大会本部へ返却。又、フィニッシュ後は返却BOXへ投函願います。
3. 大会会場は非常に広域となり、スタッフだけの監視では、緊急時に対応が遅れる場合も考えられます。選手同士や観客からの知らせが最良となることもあります。本部や近くのスタッフへの連絡を、お気軽にお願いいたします。重複や、その後回復され、その場におられなくても。それは好ましいことであり、逆の場合もあります。第1報を早く、確実に！
4. 棄権、伊体調不良の際は、スタッフや近くの選手に救援、救護を求めてください。スイムでは頭上で、両手又は片手を大きく振ってください。
5. コース内には、砂、ごみ等、一般者の通行や横断等、選手以外との接触事故が発生しております。選手同士の事故とともに、一般者が、コース内にいることを想定の上競技にご参加願います。
6. コースの周回ミス、進路折り返し等の間違いはすべて自己責任です。レース開始後、スタッフは、誘導、指示、質問への返答は一切しません。選手が、平等に、自身の力だけで完走する。トライアスロン競技

の精神にのっとっております。周回数ミスについては、前後の選手の記録や、サイクルメーター、スタッフからの確認により、順位、裁定を協議し決定します。

7. 会場内及びレース中のヘッドホン等の使用は禁止。

スイム：2周回（右回り）；総距離 750m

1. 水上からスタート（フロート）。コースロープが張ってある川の中央側を川下に向かい、ブイを回って岸側を上流へ戻り、スタート地点にてコースロープの下をくぐり、川下へ。2周回後スロープより上りトランジションへ。岸側は護岸ブロックが敷設されており浅くなっている。近づかないように。また、コース内にも浅い部分があるので注意。

バイク：4周回（左回り）；総距離 20 k m

1. 会場内バイク乗車中は、ヘルメット着用。トランジション内は乗車禁止。レースのときは、バイクに触る前にヘルメット着用の上ストラップをしっかりと締める。
2. トランジション内は、選手以外は入れません。オープン時間以外は立ち入り禁止となります。
3. バイク他セット方法：バイクはサドル掛けを基本。レースNo.の貼っている側に、ハンドルがくるように。荷物もハンドル側。レースに不要な物は、持ち込めません。最小限のクーラーBOXは可。バイク有、無ともに、常にハンドル側を走ります。設置方法について、スタッフが変更をお願いする場合があります。また、ご本人不在の場合は、スタッフが変更する場合がありますので、ご了承ください。
4. トランジションから、北へ（上流へ）向かってバイクスタート。川側から堤防側への周回コース。バイク乗車は、バイクの前輪が乗車ラインを越えてから。バイク降車は、バイクの前輪が降車ラインにかかる手前。
5. 走行はキープレフト。追い抜きは右側から、ひと声かけて安全に行ってください。接触は大きな事故につながります。ご注意ください。ドラフティング禁止。他の選手に近づいての走行は禁止です。曲線部、折り返し、対面通行区間は、追抜き禁止、徐行区間とします。

6. バイク引取りは、場内放送にてお知らせします。必ず、ご本人がレースNo.を持って、バイクについているNo.とスタッフが照合の上引き取りを許可します。No.、シールの紛失の際は身分証明書等の本人確認が必要となります、事前にご準備いただくと、引き取りがスムーズに行えます。盗難防止にご協力をお願いいたします。引き取りの無いバイク等については、スタッフが移動させます。ご了承ください。

ラン：2周回（右回り）；総距離 5 k m

1. トランジションから南へ（下流へ）ランスタート。川側の道路を対面にて折り返し周回します。レースNo.は前。左側通行。追い抜きは一声かけて。
2. エイドでの給水は減速して。ごみはゴミ箱へお願いします。個人ドリンクは、エイドのテーブルに設置可。ただし、個人管理でお願いします。

フィニッシュ

1. レースNo.、身なりを整えて、サングラスは外して。フィニッシュ後は、計測器を外して、回収箱に入れてください。同伴フィニッシュは許可します。他の選手に配慮してください、付近のスタッフにお声かけください。
2. フィニッシュ後、緊張が解け、意識障害等の発生する場合があります。特に、通常よりオーバーワークとなられた選手は、レース後や、お帰りの際、十分な休憩を細かくとりながらお帰りください。

加入保険について

万一の事故に備え、大会側にて保険に加入しておりますが、損害の全部を補償できるものではありません。また、引受保険会社の審査、判断により、減額や対象外となる場合もあります。必要に応じ、各個人にて加入することをご提案いたします。

● パラトライアスロン競技について

1. スイムスタートは水上からですが、コースロープ等、仮設、構造物、他につかまってしまうスタートも許可します。勢いをつけるスタートは禁止です。
2. スイム出口でのサポート方法について、各個人にて、スタート前にスタッフと打ち合わせ願います。出口は、コンクリートスロープの上に堆積物があり注意が必要です。事前の確認をお願いします。スロープを昇った地点に、着脱エリアを設けます。パイプ椅子が設置されます。この場所の使用は、個人の判断にて。ここまでスイムスタッフがサポートします。
3. トランジションにて、サポートの必要な選手は、スイム同様スタート前に打ち合わせ願います。幅約5m道路の両側にラックを配置。
4. バイクコースは川側幅員6m、堤防側幅員4m。北側折り返しは半円、南側折り返しは直角T字路の連続による。2周回後、トランジション方向へ進む。第2トランジションのバイク、荷物はご自身のエリアから出ないように、まとめてください。
5. ランコースは全幅6mの道路を半分にした対面通行。折り返し部分も同様の幅。
6. フィニッシュ後テニスコート内に入ります。(左折)。困難な選手はそのまま直進後、適当な場所より、テニスコート内にお入りください。その際、計測器の返還を忘れないようお願いいたします。